

## 2020年度

### えこびれアンバサダー募集

「活動には参加できないけれど、経済的に支援したい」「季節のギフトをふるさとからのお便りのように楽しみにしている」など好評をいただき、嬉しいことにリピーターが増えています。今年は返礼ギフトに町内の果物や水産加工品なども加わって一層豪華になりました。

アンバサダーという名前から何か難しいことを要求されていると思われるかもしれませんが、私たちの活動を家族やお友達に伝えていただくだけでも結構です。

ご希望の方はお気軽に以下に記載したエコビレッジ事務局までお申込みください。

#### ○ブロンズ会員 年会費3万円(定員15名)

オリジナル加工品セットを年3回(スパークリングワイン、ジャム、スイーツ、野草茶などの詰合)

#### ○シルバー会員 年会費5万円(定員15名)

オリジナル加工品セット年2回に加えて、登ワインセット(エコビレッジの赤、モンガク谷ワイナリーの白、登醸造のロゼ)、エコビレッジのワインぶどう収穫&仕込みイベントにご招待

#### ○ゴールド会員 年会費10万円(定員15名)

エコビレッジのオリジナル加工品およびワイン&ジュースセットを含む、余市のグルメシリーズを年6回お届けします。

百姓園のサクランボ、ピンク・オーチャードのブルーベリー、福原水産のニシン加工品、じきの台所のお惣菜セット(えこびれ羊の加工品を含む)などなど、エコビレッジの仲間たちが腕をふるう美味しいものがずらり。

エコビレッジの体験&宿泊券(30,000円相当)付

TEL/FAX:0135-22-6666

Eメール:y.ecocollege@gmail.com

## 2021年度

### えこびれ会員 募集中

#### 活動を応援してください!

私たちの活動は会員さんの会費・寄付によって支えられています。正会員またはサポート会員2名をお申込みいただいた、先着30名様にはえこびれスパークリングワイン2020をプレゼント。

◆正会員 年会費一口10,000円(総会の議決権あり)

◆サポート会員 年会費一口5,000円

・ゆうちょ銀行から

【記号】19070 【番号】38886511

【口座名義】

トクビ)ホッカイドウエコビレッジスインププロジェクト

・ゆうちょ口座のない方は振替用紙を使うと手数料がお安くなります。

【口座番号】02700-9-85080

【口座名義】北海道エコビレッジプロジェクト

・北洋銀行から

【口座番号】宮の森支店 普通 4031861

【口座名義】

トクビ)ホッカイドウエコビレッジスインププロジェクト

・クレジットカード

右記のQRコードから Syncable (シンカブル) というウェブサイトへ飛び、必要事項をご記入いただいた上、お手続きをお願いいたします。



#### 入会のお申込み・お問合せは下記まで

【余市エコビレッジ】

余市郡余市町登町 1863

\*JR 余市駅からバスで10分  
(赤井川線でモンガク下車)、  
徒歩3分

【Tel/Fax】

0135-22-6666

【Eメールアドレス】

y.ecocollege@gmail.com

【Web ホームページ】

http://ecovillage.greenwebs.net/



えこびれ  
note

VOL.44 DEC.



作成・発行

NPO 法人 北海道エコビレッジ推進プロジェクト

■エコカレッジ:余市町登町 1863

■office:札幌市中央区宮ヶ丘2丁目1-1-303

Hokkaido Eco-village Promotion Project

## ～えこびれ・行く年来る年～

今年は、激動の1年として世界中が記憶する年となりました。

エコビレッジも、活動開始以来のピンチに陥りかけましたが、大勢の方がご寄付で応援してください、外国人の代わりに大学生たちが農作業を手伝ってくれ、初の赤ワインは光栄なことに余市町のふるさと納税の返礼品に加えていただきました。コロナによる窮地を救ってくれたのは、いろいろな人とのつながりであり、10年の積み重ねだったことを思うと感謝の念に堪えません。

2021年は余市に拠点を構えて10年目です。

この間、「持続可能な暮らしと地域」を体験的に学ぶ教育ファームを基盤に、循環農業やワインづくり、エコ建築、グリーンツーリズムなど多種多様な分野に挑戦してきました。そんな多岐にわたる活動を整理し、次の10年ビジョンを描くことが今年の最初の目標です。

この蓄積を踏み台に、次の10年をどう進むのか。まさに変革を迫られているこの世界において、課題解決のモデルを示すことができるよう、地域の仲間と共に歩んでいきたいと思えます。

移住してフルコミットする人、イベントに参加する人、商品を買って応援する人など、多様な関わり方を受け入れながら成長していきたい。引き続き、みなさまのご支援、ご指導をいただければ幸いです。

そして、この混沌とした社会に希望の光が差して、誰もが笑顔になれる日が一日も早く訪れますように、心からお祈り申し上げます。

2020年暮れ 坂本純科

## 追手門高校 SDGs研修

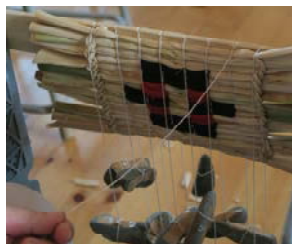


10月21日、大阪の高校生200人を受け入れてSDGs研修を実施しました。高校生たちは余市・仁木の農家や漁家を訪ね、歴史や環境など多様な分野で思いを持って働く人たちと出会い、社会課題を現実的に捉えるとともに、自分自身の将来の生き方、働き方について考える機会を得ました。



コロナ対策をしながらの運営は苦労もありましたが、たくさんの方々の協力を得ながら、SDGsをテーマに地域全体のつながりを作ることができました。

## チタラペ作り体験



外来生物の防除と景観保全とともにアイヌ文化を学ぶ講座を開催しました。貝澤珠美さんを講師に、ガマを使ってチタラペ（ゴザ）を編み、先住民の話をお聞きました。

(ほっくー基金、公益財団法人アイヌ民族文化財)

## オンライン報告会と エコビレッジ10年ビジョン会議

12月9日、オンライン報告会の後、「孫の世代まで住みたいコミュニティ」というテーマで、エコビレッジの10年後やその先の将来を考えました。「多世代、多様な人たちが助け合い、子どもが自由に自然と触れ合っているコミュニティ」や「全ての人に仕事がある」、「地域内で食べ物が調達できる」など、まさに将来のエコビレッジが想像できるアイデアをたくさんいただきました。余市エコビレッジ10年目の節目の年、次の10年の将来を考える「10年ビジョン会議」の第3回目は、新年1月中旬に実施予定です。

## タイニーハウス3号 建設中



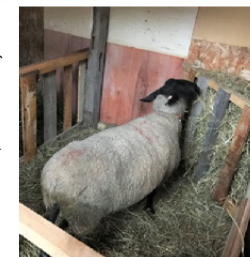
お試し移住や農業研修など中長期滞在をターゲットに2人仕様のタイニーハウスを建設中です。基礎の穴は、小中学生も一緒に手で掘りました。

今後、ボランティアとともに室内の塗装や設備を整えて、春の完成を目指します。

(北海道リスタート事業)

## 羊を感じる

11月12日、羊が無事にお肉になりました。今年もたくさん学ばせてもらった羊飼生活でした。新しく来た母羊を含め、3頭の羊が今も羊小屋で草を食べています。今年2月に出産予定です。



(文筆：小さな羊飼い)